

はまY U



秋祭り

Vol.
40
2018.冬号

CONTENTS

理念・基本方針	2
新採用医師のご紹介	2
災害訓練関係より	3
感染対策について	4～5
診察室から～外科のご紹介～	6～7
各部署から～食養科のご紹介～	8
秋まつり	9
お知らせ	10
患者の権利・医療倫理研修会	11
管理栄養士のおすすめレシピ	11

● 白浜はまゆう病院 外来診療担当表

泌尿器科

診療日 / 月・水曜日 午前・午後
火・木・金 午前
受付時間 / 午前8時半～11時半
午後1時半～4時半
診療時間 / 午前9時～12時
午後2時～5時
担当 : かわしま ひでのり
川嶋 秀紀 部長
きむら やすのり
木村 泰典 医長

耳鼻咽喉科外来

診療日 / 木曜日・午後
土曜日・午前(第1・3予約制)
受付時間 / 木曜日 午後2時～4時半
診療時間 / 木曜日 午後2時30分～5時
土曜日 午前9時～12時
担当 : ほとみ むねき
保富 宗城 医師
担当医(和歌山県立医大)

※第1木曜日は完全予約制(がん研有明病院)

白浜はまゆう病院は、夜間・休日を問わず
「365日・24時間の救急医療」に対応しています。

公益財団法人日本医療機能評価機構 認定施設複合病院(一般病棟・
リハビリテーション病院・慢性期病院)機能種別版機能評価項目3rdG: Ver.1.1



敷地内 全面 禁煙

NO SMOKING

理念

私たちは、地域に根ざした医療機関として、誠実さと思いやりをもって、質の高いサービスを提供し、健康・福祉のレベルの高い地域づくりに努めます。

基本方針

1. 利用者の権利の尊重

私たちは、健康増進から看取りまで、利用者の皆様の気持ちや権利を大切に医療とケアを提供します。

2. 地域に開かれた存在

私たちは、24時間いつでも、誰でも、困った時は気軽に受診・相談していただける、地域に開かれた医療機関・サービス提供機関を目指します。

3. 協力と連携

私たちは、院内各職種が手を携え、地域の他機関とも協力連携し、健康増進・診断と治療・リハビリテーション・看取りまでの一貫した包括的な地域医療と福祉を提供します。

4. 利用者とのパートナーシップ

私たちは、患者・利用者の皆様と手を携え、安全で質の高い医療・ケアを提供します。

5. 事故・災害への対応

私たちは、大規模な自然災害や事故に対応できるように、普段から備えを強め、いざというときに頼りになる病院を目指します。

6. 質の維持と改善

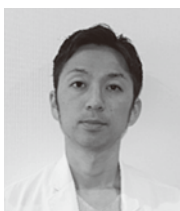
私たちは、常に研修を行い、時代の水準を維持するとともに、お互いに注意し合い、サービスの質の向上に努めます。

7. 観光地の病院としての対応

私たちは、観光客の人々が安心して訪れられるよう、不慮の事故や病気に対しての診療体制を整備します。



新採用医師のご紹介



こばやし ゆうと
小林 祐人 医師

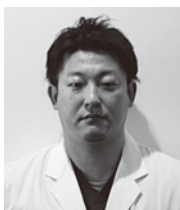
整形外科

この度、2018年10月より赴任して参りました小林祐人と申します。

大阪市立大学整形外科医局に在籍しており、本年度9月までは大阪府堺市に位置する阪堺病院にて勤務しておりました。阪堺病院は大阪南地域の外傷を中心とした市民病院であり、高齢化に伴い増加する一般外傷疾患および近隣学校での小児外傷が非常に多く、早期手術による早期回復を目指しておりました。

白浜はまゆう病院に赴任いたしましてまだ間もないですが、前病院と共通するところがあるのでないかと感じる一方で、90歳を超える高齢の方で受診されるケースが非常に多い印象を受けております。日常診療においては首の痛み、腰の痛み、関節痛などの日々のお悩みに加えて、運動や交通事故等の怪我や骨折に関して担当させて頂いております。

至らない点も多くご迷惑をおかけしますが、これまでの経験を活かし微力ながら患者様に貢献させていただきたい所存でございます。半年間の勤務予定でございましてご迷惑をおかけしますが、精進致しますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。



ふかみ ともゆき
深見 知之 医師

外科・消化器外科

平成26年 京都府立医科大学卒、消化器外科の深見知之と申します。本年12月より白浜はまゆう病院に赴任させていただきました。

出身が大阪の堺市で白浜はまゆうは何度か旅行でお邪魔したことがあり、海が望めるこの地で勤務させて頂けることを大変嬉しく感じております。

日常診療では一般外科、消化器外科、救急診療を担当させて頂いております。微力ながら少しでも地域の皆様のお役に立てるよう頑張っていきたいと思っております。

些細なことでも構いませんので気軽に声をかけていただければ幸いです。4ヶ月という短い期間ではありますがどうぞよろしくお願い申し上げます。

和歌山県津波災害対応実践訓練に参加しました

総務課 布袋仁也



和歌山県では毎年県主催の津波災害対応実践訓練が開催されています。今年は10月14日に、東南海・南海地震が発生し県内各所で多数の被害がでたという想定で行われました。県庁や保健所、市町村等の自治体、和医大を始めとする災害拠点病院や災害支

援病院、消防や自衛隊、海上保安庁等多くの機関が参加しました。

白浜はまゆう病院からは松中秀之医師、林克晃主任看護師、野村達矢看護師、坂本麻美子医事課副主任、布袋仁也の5名で参加しました。白浜空港に集合した当院職員は二手に分かれ、松中医師は南和歌山医療センターチームとともに自衛隊の双発ヘリCH-47で自衛隊の護衛艦ひゅうがへ飛び、ひゅうが内に設置されたSCU（医療搬送のための臨時医療施設）内での活動に従事しました。残りの4名は自衛隊ヘリUH-1で加太まで飛び、コスモパーク加太内に設置されたSCUでの活動に従事しました。

白浜空港から加太までは20分少々、運転席の自衛隊員のあざやかな運転技術を後部座席より見つつ、天気も良く窓際の席に座った私は美しい和歌山の景色を堪能しました。しかし、ひとたび大規模災害が起こればこの美しい街並みも海も山も非常に大きな被害を受けることを思うと、自分たちの郷土を守る、そのための備えを普段から怠ってはならないという気持ちをあらためて強く持ちました。

大規模災害時に多数傷病者が発生することは避けられず、県内の傷病者をすべて県内の医療機関で受け入れることは無理なので、県外（被災地外）へ傷病者を搬送する必要があります。SCUはそのための施設で、定期的な訓練を行わないと災害時に思うように動けません。

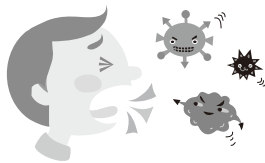
加太SCUでは、SCU指揮所を運営しつつ、多数傷病者の受け入れを行いました。衛星携帯電話で上位組織である活動拠点本部と通信を行い、搬入された患者については傷病者リストを作成しトリアージによる優先順位をつけ、患者追跡システムに患者情報を入力していくという標準的な訓練を行いました。また、普段は搭乗する機会のない自衛隊ヘリに搭乗することができ、より実践的な訓練となったと思います。

これからも、来るべき大規模災害に対し備えを強めていきます。

9/9救急の日 1日救急隊長

救急の日になみ、当院の西嶋奈那看護師が白浜町消防本部の1日救急隊長を拝命し、町内のスーパー等で救急医療の啓発活動に従事いたしました。





冬の感染症対策は万全ですか？

泌尿器科医長・感染対策委員長 木村 泰典

2017年の冬はインフルエンザが大流行しました。また今年に入っては麻疹や風疹の患者数増加など感染症の話題は尽きません。今年も寒くなる時期に差し掛かり、ここで感染症対策についての正しい知識をおさらいしておきたいと思います。



まず、質問ですが、感染症対策で最も重要なこととは何でしょうか？結論から先に申し上げますと、それは「感染経路の遮断」です。感染症対策というと、すぐに消毒とか滅菌とかを連想しがちですが、では消毒と滅菌は何が違うのでしょうか？消毒薬には洗剤といった界面活性剤などいわゆる低水準の消毒薬から、アルコール、次亜塩素酸ナトリウムといった水準の高い消毒薬まで様々ありますが、消毒の定義というのは、人畜に有害な微生物または目的とする微生物だけを殺滅することで、これに対し、滅菌の定義というのは、すべての微生物を殺滅することになります。ということは、開腹手術で用いるような器材は滅菌まで必要となるでしょうし、用途に応じて、どの水準まで消毒あるいは滅菌を行うのかが変わってくることになります。必要とされる以上のレベルで消毒・滅菌を行っても、それは労力や経費の無駄使いであり、かえって有害となります。例えば消毒薬のホルマリンは水準の高い消毒薬ですが、発癌性があることも報告されており、環境消毒には適しません。

ひと昔前までは、感染対策として消毒薬の空中散布や粘着マットの使用などが行われていた時期がありました。しかし、これらはエビデンスのない環境消毒の例として、現在ではすでに否定されています。消毒薬が効果を発揮するには使用濃度や温度、接触する作用時間など、様々な因子が影響を及ぼし、思い通りの効果を得るには洗浄で表面の汚れをきっちりとしたあと、適切な濃度で何分間作用させ・・・といった条件が揃わないといけませんので、実験データ通りにはいかないのです。現実問題は、ちょっとした時間でも砂ぼこりは環境表面に沈降してきて消毒薬はきっちり適切な濃度で接触できないし・・・といった具合に、環境消毒を完璧に行うことは不可能です。従って日常の環境整備・管理においては、床、壁などの低頻度接触表面は界面活性剤での日常的な清掃で十分ですとか、高頻度接触表面とされるベッド柵やPCのマウスやキーボードなどは、除菌洗浄剤やアルコール製剤などで1日1回は清掃するようにしましょうとか、必要とされるレベルの目安が一通り示されています。

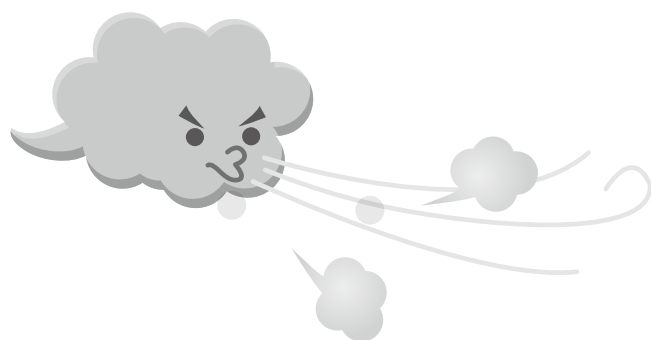
こうなってくるとすごく話が複雑だなあという印象を与えますが、しかし、心配はいりません。環境表面にいる病原微生物が実際の感染を引き起こす可能性が低いことは、明らかとなっており、実際に病原微生物が多数いるであろう病院でも、環境表面からの感染リスクが問題となることは少ないのです。本当の問題は手指を介した接触感染、咳やくしゃみに含まれる飛沫といわれる粒子に直接暴露される飛沫感染、結核や麻疹などでみられる空気感染であって、環境をどうこうすることを悩むのではなく、体内に侵入してくる経路を遮断して、感染成立を防ぐことを考えればよいということになります。

感染経路は厳密に言うと多数ありますが、主要な感染経路は3つで、やはり飛沫、空気、接触です。飛沫とは咳、くしゃみ、あるいはしゃべっているときに口から撒き散らされる粒子（直径 $5\mu\text{m}$ 以上）で、飛沫は水分を含んでいるので1mくらいしか飛びません。インフルエンザなどいわゆるウイルス性のかぜは、ほとんどがこの飛沫感染を感染経路としますが、直接飛沫を浴びないよう1.5m以上距離をとったり、マスクを装着することで十分に防ぐことができます。外部からの防御かつ自らの飛沫の撒き散らしを防ぐという意味で、インフルエンザに限らず、咳が出るすべての人は、マスク装着を行うべき（咳エチケット）です。お互いに声をかけ合うようにしましょう。

一方、空気感染は飛沫核（直径 $5\mu\text{m}$ 未満の粒子）を介して伝播する感染形態で、空中に浮遊する塵埃のようなものにウイルスや菌が付着しているようなイメージとなります。感染力を持つ期間は空調設備のある個室に隔離も必要となりますが、しかし、空気予防策を取るべき疾患は少なく、主に3つ、結核、麻疹、水痘です。

接触感染については、例えばインフルエンザを発症している患者さんが、テーブルの上で咳をしたとします。テーブルは咳で汚染されるわけですが、大まかに言うと、インフルエンザウイルスは環境中で48時間は感染力を持ったまま生きていられるとされているので、このテーブルを手で触り、その汚染された手で、無意識のうちに目をこすったり、鼻を触ったり、口を触ったりすると、感染するかもしれません。対策としては、石鹸＋流水で手洗いをするか、最近ではスーパーマーケットの入り口にも設置されるようになってきていますが、速乾性擦式アルコール製剤を手で擦り込むことが有効です。アルコールや石鹸は、脂溶性（脂質を溶かす作用）でウイルスの外を覆っている殻を破壊してくれます。インフルエンザウイルスはRNAという一本鎖の核酸を持つ、構造的に弱いウイルスですので、外側を覆っている殻さえ破壊してやれば、容易に失活します。胃腸炎を引き起こすノロウイルスの場合でも、感染経路は接触→経口ですから、流水と石鹸を使った手洗いをして、嘔吐物や便を処理する際にはマスクや手袋をして直接触れないようにして、経口からの侵入を遮断するように予防策をとればよいわけです。

さて、ここまでで感染症対策で最も重要なこと、すなわち「感染経路を遮断すること」をご理解いただきましたでしょうか？そしてその「感染経路の遮断」において最も有効で簡単なことは手指衛生（手洗い）です。当院では感染対策のスローガンとして「洗手必勝」を掲げていますが、それは「先に手洗いを励行すれば、感染対策に必ず勝利する」という意味で、これは入院患者さんに限らず、お見舞いに来院される方にもご協力をお願いしていることです。皆さんも積極的に感染経路を遮断する予防策を行い、寒い冬の時期を健やかに過ごせるようにしましょう。



診察室からのお話

～外科・そけいヘルニア専門外来のご紹介～



外科医長 荒居 琢磨

①白浜はまゆう病院について

なんといってもロケーションが最高で、こんな景色のいい病院はそうそうありません。特に新病棟は明るくきれいです。また看護師も優しく、仕事以上の気持ちを持って患者さんに接しているのを肌で感じます。手術室は最新の設備が整っており、スタッフもたたき上げの精鋭が揃っています。患者さんから聞きましたが、病院食もおいしいとのことでした。

②外科について

当院の外科は京都府立医科大学の関連病院となっています。派遣されてくる先生は歴代、将来を嘱望されている力のある先生方ばかりですし、若い先生は4ヶ月交代という短い期間ですが都会から新しい風を吹き込んでくれます。また、手術に関しては必要に応じて大学病院のスタッフを招聘し最先端の手術治療を行うことが可能な手厚い体制がとられており、風通しもよく医療の質も担保されている素晴らしい環境だと感じます。私は信州大学出身ですが、地元枠(田辺市出身)で居させて頂いております(笑)。もちろん、地域の皆さんにとってプラスアルファの力になれるよう尽力しています！

さて、ここからは外科で行われている診療の内容についてです。

病院ホームページにも記載していますが、当科では胃がんや大腸がんといった腹部のがん手術・抗がん剤治療や緩和治療、胆のう炎・虫垂炎・腸閉塞・そけいヘルニアなどの手術、大腸憩室炎・虚血性腸炎・その他急性腹症などの腹部救急疾患の保存的治療、さらに切り傷・陥入爪（巻き爪）・褥瘡（床ずれ）などの創傷処置にいたるまで多岐にわたって対応させて頂いております。日本外科学会、日本消化器外科学会の指導医・専門医を擁し、日本外科学会の認定修練施設にも選ばれております。また手術は腹腔（ふくくう）鏡下手術が過半数を占めており、そのほぼ全例に日本内視鏡外科学会技術認定医が立ち会っています。腹腔鏡下手術の適応についてはその特性・安全性を考慮し、開腹手術の方が安全性・根治性が高いと判断した場合は決して腹腔鏡にこだわることなく術式を決定しています。

私自身、以前の病院で多くのそけいヘルニアに対する腹腔鏡下手術に携わることができた経緯もあり、そこで得た経験を地域に還元できるよう、またヘルニアについて気軽に相談して頂けるよう本年8月からはそけいヘルニア専門外来を開設しました。

そけいヘルニア専門外来について

そけい部は脚の付け根を指します。ここに脂肪や腸の一部が皮膚の下に出てくる病気をそけいヘルニアといいます。いわゆる脱腸です。ヘルニアの根本的な治療は手術しかありません。最近は患者さまの負担が少ない腹腔鏡を使う方法も普及してきています。

当院では腹腔鏡下手術での修復を第1選択としていますが、状態に応じて患者さまに一番利益がある手術法で治療できるよう利益・不利益を説明させて頂き納得してから治療を受けて頂けるよう心がけています。また再発ヘルニアも適宜対応可能です。

腹腔鏡下そけいヘルニア手術の利点は次の通りです。

傷が小さく、穴をふさぐ補強のシートを内側から自然に張り付けることができるため、術後の痛みや神経痛の頻度が少ないと言われています。またおなかの内側から観察できるのでどこに穴が開いているのか誰がみてもわかります。また複数穴ができていたり、もう一方のそけい部に穴が開いているかどうかにも同時に観察できますので見落としが少なく、またもう一方に穴があった場合でも同じ傷で同時に両側の手術が可能です。全身麻酔での手術となりますが、手術当日入院で翌日退院も可能な方法です。

その他、従来通りの手術法も各種対応可能です。場所が場所だけに様子をみてしまいがちの病気ですが、気になる方はお気軽に当院そけいヘルニア外来に相談してみてください。

外来は月曜日・水曜日の午前中で、予約なしの当日受診も可能です。



各部署から

～食養科のご紹介～

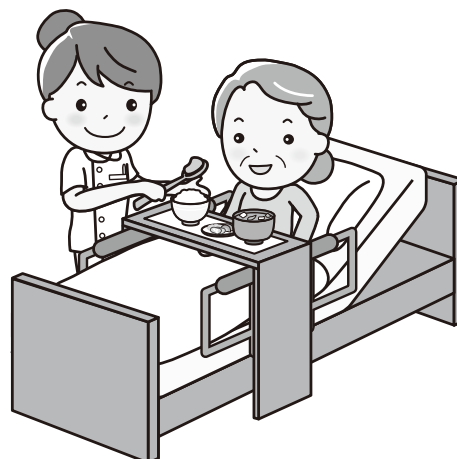


食養科スタッフ

食養科は管理栄養士4名体制で、主に入院患者様の栄養管理、入院外来の栄養指導、献立作成などの業務を行っています。

給食業務は日清医療食品関西支店に委託しており、調理師、管理栄養士、栄養士、調理補助、総勢20名のスタッフが交代で1日約600食の食事を提供しています。食事内容は糖尿病食や減塩食などの治療食、嚥下機能が低下されている方のための嚥下食（ペースト、ゼリー状、とろみ付き）など多くの種類があり、1食あたり約30種類を作っています。また患者様個別に食物アレルギー対応、嗜好対応、食形態（きざみ食、串さし食等）対応を行い、間違いがないよう細心の注意を払っています。

病院食はおいしくないイメージがあるかと思いますが、安全で楽しみとなる食事提供を目標に日々取り組んでいます。



秋祭りを開催しました!

南館4階 坂本 昌孝



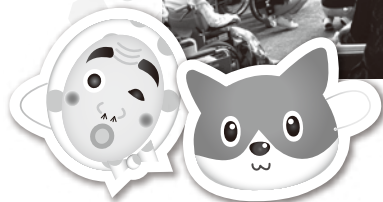
また今年は、白浜町保健センターのスタッフによる「ちんどん屋」と熊野高校の「サポーターズリーダー」の生徒たち20名以上による「よさこい踊り」や「心肺蘇生ダンス」の参加があり、例年以上に大盛り上がり秋祭りでした。

皆様からは、「美味しかった。ありがとう」「若い子達の踊り良かったよ」「孫も来てくれたし良かったわ」と笑顔で声をかけていただきました。

今後も、スタッフ一同で地域の皆様に喜んでいただけるような企画をしていきたいと思っています。ご協力していただいた皆様方ありがとうございました。

今年は、台風も多く心配していましたが、10月14日(日)は天候にも恵まれ屋外での秋祭り開催となりました。「焼きそば」「たこ焼き」「ふわふわパンケーキ」「くじ引き」「人形すくい」「コーヒーマー」などおいしく楽しんで頂けるよう工夫し、屋台を実施しました。

患者様と一緒にご家族の方も多く来てくださり、終始笑顔で共に楽しく過ごす時間を提供することが出来たのではないかと思います。小さなお孫さん達も、くじ引きや人形すくいを一緒にして喜ばれている姿もあり、こちらも嬉しい気持ちになりました。



お知らせ

●障害者用駐車場の適正利用について

当院には本館前に11台、南館前に2台の障害者用駐車場を設置しております。この駐車場を利用できる方は、和歌山県障害者等用駐車区画利用証制度に基づき、**障害者（身体・知的・精神）、難病患者、要介護高齢者、妊産婦、けが人等の歩行困難者**とさせていただきます。



障害者用駐車場の適正利用はあらゆる方が安心して来院していただくための重大な課題であると考えております。適正な利用かどうか確認が必要な場合は病院職員からお声掛けさせていただくこともありますが、本当に必要としている方が利用できるよう、みなさまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

障害者駐車場の適正利用にご理解をお願いします。

●マスクの自動販売機を設置いたしました

本館正面玄関・時間外通入口および南館正面玄関の3か所に24時間購入できるマスクの自動販売機を設置しております。お値段は1箱2枚入りで100円です。感染症をうつさない・うつされないための対策のひとつとして、このマスクをご利用いただければ幸いです。



正面玄関に設置したマスクの自動販売機



時間外出入り口の自動販売機

●図書・休憩コーナーにインターネット用端末を設置いたしました

本館1階受付前に図書・休憩コーナーを設けております。

ここは待ち時間などにゆっくりと過ごしていただけるようテーブル席を配置するとともに、自由に



持って帰ることのできる図書（白浜町立 図書館ご提供）や、病気に関する図書、さまざまな調べものに使えるインターネット用端末を設置しております。テーブル席は飲食に利用いただくこともできます。

お気軽にご利用くださいませ。

受付前の図書・休憩コーナー
インターネット端末もご利用ください。

患者の権利・医療倫理研修会を開催しました

10月10日、和歌山県立医科大学附属病院 紀北分院 認知症看護認定看護師の岸田悦子さんをお招きし、「認知症を患った患者様と関わる上での権利擁護 ～ユマニチュード～」と題した講演が行われ、約100名の職員が参加しました。

認知症の患者様のケアを行う場合、患者様の視野の先から入り、視線を合わせ、優しく話し、触れることで患者様との関係を築き、絆を結び、患者様にあったケアを選択するユマニチュードを常に心掛け、実行することの大切さを学びました。

私たちが おすすめする カラダにいい とっておきレシピ 第32回

～甘酒入りかき玉スープ～

寒い日が続いていますね。

風邪をひいて食欲が出ないなんてことはありませんか。

そんな時におすすめの簡単あったかメニューを紹介いたします。

飲む点滴とも言われる甘酒と、すりおろした生姜を入れたかき玉汁はいかがでしょう。

こっくりとしたスープは食欲のないときでも、やさしく体を温めてくれます。



食養科 管理栄養士
崎下 舞

～甘酒入りかき玉スープ～



材料(1人分)

卵	50g
生姜	5g
ねぎ	3g
塩	0.5g
うすくちしょうゆ	1g
甘酒	100g
出汁	80g
片栗粉	2g

栄養価(1人分)

エネルギー	167kcal
タンパク質	8.1g
脂質	5.3g
食物繊維	0.5g
食塩相当量	1.1g

作り方

- ①卵は溶いておく。生姜はすりおろす。ねぎは小口切りにする。
- ②沸騰した出汁に塩としょうゆを加えて溶かす。
- ③甘酒と生姜を加え、煮立ったら水溶き片栗粉を流してとろみをつける。
- ④卵を細く回し入れ、余熱で火を通す。
- ⑤器に入れ、ねぎを添えて出来上がり。

白浜はまゆう病院診療担当表

電話 **43-7880**(受付) **43-6200**(代表)

診 療 科			月	火	水	木	金	土
内 科	内科1(初診)	午前	伊藤 揚 荘	松本 潤	岡 宏保	竹井 陽	伊藤 揚 荘	高村 竜一郎
		午後						
	内科2(再診)	午前	岡 宏保	伊藤 揚 荘	松尾 晃次	松尾 晃次		
		午後	中村 信男			岡 宏保		
	内科3(再診)	午前			中村(第1・3・5)			
		午後		白川(第1・3)	中村 信	山崎 幸茂		
	内科4(再診)	午前			竹井 陽	谷口 友志		
		午後	松本 潤	木下 正博	山下 泰伸			
	内科5(再診)	午前	荒居 (外科/鼠経ヘルニア外来)		谷口 友志	伊藤 揚 荘		
		午後	國部(禁煙外来)		谷口 友志	松本 潤	谷口 友志	
外科／消化器外科		午前	深見 知之	宮前 真人	荒居 (外科/鼠経ヘルニア外来)	宮前 真人	深見 知之	当番医
脳神経外科		午前				中村 善也		
		午後				中北(予約)		
整形外科		午前	成田 依里	成田 依里	小林 祐人	成田 依里	小林 祐人	
		午前			小池(予約制)		岩切(予約制)	
装具外来		午前		装具外来		装具外来		
小児科		午前	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋
		午後	古久保 和洋	古久保 和洋		古久保 和洋	古久保 和洋	
婦人科		午前	國部 久也	國部 久也	國部 久也			
		午後	國部 久也	國部 久也	國部 久也	國部 久也	國部 久也	
乳腺外科		午前	粉川 庸三	粉川 庸三		粉川 庸三	粉川 庸三	
皮膚科		午前						県立医大
		午後		県立医大				
眼 科		午後			当番医		当番医	
耳鼻咽喉科		午後				当番医		保富(第1・3)予約制
循環器外来(予約)		午前	岡 宏保		中村(第1・3・5)			
		午後	中村 信男	白川(第1・3)	中村 信男	岡 宏保		
呼吸器外来		午前			松尾 晃次	松尾 晃次		
泌尿器科		午前	木村 泰典	木村 泰典	川嶋 秀紀	木村 泰典	木村 泰典	当番医
		午後	川嶋 秀紀		木村 泰典			
泌尿器科専門外来		午後		川嶋 秀紀			川嶋 秀紀	
神経内科専門外来		午前	小口 健					中崎 繁明
		午後		石口 宏		小口 健		
通院リハビリテーション外来		午前	谷口 友志	谷口 友志	研修医	研修医	岡 宏保	
		午後	岡／國部	谷口／岡	大井 亜希	國部 久也	岡／松尾	
リウマチ専門外来		午前		小池 達也		小池 達也		
膠原病・糖尿病専門外来		午前		伊藤 揚 荘		伊藤 揚 荘		
消化器専門外来		午前	荒居 琢磨		谷口 友志	谷口 友志		
		午後			谷口／山下		谷口 友志	
循環器・高血圧専門外来		午前						担当医(月2回)

※火曜日午後 内科3診/循環器外来…第1・3(白川 岳) ※水曜日午後 眼科…第1・3・5(井上晃宏)/第2・4(田中公子) 水・金曜日午後 眼科…予約外は先着5名までとさせていただきます。 2018.12.1～
 ※土曜日午前 耳鼻咽喉科…第1木曜日は完全予約制、第1・3(保富 宗城) 予約制 ※診療担当医が変更になることがございます。ご了承下さい。

	受付時間	診療時間	●休診 土曜日午後・日祝
午前(月～土)	8:30～11:30	9:00～12:00	
午後(月～金)	13:30～16:30	14:00～17:00	
循環器外来(月 第2・4水)	14:00～16:30	14:30～17:00	
循環器外来 第1・3・5(水)	8:30～11:00	9:00～11:30	
	13:30～16:00	14:00～16:30	
循環器外来(火)	(予約制)	13:30～15:30	
皮膚科(火)	13:00～15:45	13:30～16:00	
眼科(水)	13:30～15:30	14:00～16:30	
耳鼻咽喉科(木)	14:00～16:30	14:30～17:00	
耳鼻咽喉科 第1・3(土)	(予約制)	9:00～12:00	
循環器・高血圧専門外来(土)	(予約制)	9:00～12:00	

※診療時間外(夜間・休日)に具合が悪くなったときは、日時に関係なく受付しますので、白浜はまゆう病院へ電話でご連絡ください。



公益財団法人白浜医療福祉財団

白浜はまゆう病院 ●理事長 井潤 誠 ●院長 谷口 友志

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1447番地

TEL.0739(43)6200 FAX.0739(43)7891 【E-mail】info@hamayu-hp.or.jp 【URL】http://www.hamayu-hp.or.jp/

■西 富 田 ク リ ニ ッ ク
 ■鮎 川 診 療 所
 ■日 置 診 療 所
 ■三 舞 診 療 所
 ■川 添 診 療 所
 ■訪問看護ステーションたんぽぽ

〒649-2334 和歌山県西牟婁郡白浜町才野1番地

〒646-1101 和歌山県田辺市鮎川583番地の3

〒649-2511 和歌山県西牟婁郡白浜町日置206番地の1

〒649-2532 和歌山県西牟婁郡白浜町安居3番地

〒646-0301 和歌山県西牟婁郡白浜町市鹿野1103番地

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1447番地

TEL.0739(45)3600 FAX.0739(45)3678

TEL.0739(48)0031 FAX.0739(48)1005

TEL.0739(52)2002 FAX.0739(52)4192

TEL.0739(53)0001 FAX.0739(53)0001

TEL.0739(54)0037 FAX.0739(54)0037

TEL.0739(43)5226 FAX.0739(43)0682